

## ■ご挨拶

# 風力発電協会の活動を通じて

日本風力発電協会 理事 吉田 悟  
株式会社 北拓 取締役副社長



### はじめに

引き続き理事の職を務めさせて頂く事になりました吉田でございます。FITが施行されたことによりメンテナンスにも十分な予算措置が取られているにも拘らず重大な風車事故が起きている事は風力業界にとりまして普及促進の速度を落としかねない問題であると考えており、業界当事者として責任を痛感しております。同時に予防保全を含む長期的なメンテナンス手法をJWPAの皆様と共に早急に作り上げて行く行動に移さなければならないと思います。

### 当社として

風力発電の安全で効率よく適切な運転のご提案をカスタマーにご提供できます様に社内での人材育成の為に設備の充実を更に図り技術者の個々のスキルの向上、安全作業の意識の更なる向上を目指してゆく所存です。

風車のアベラビリティを向上させる為にバックアップ部品の充実、大型ユニットのリビルド品の活用、交換作業の効率化、予防的メンテナンス手法の確立、メンテナンス効率を向上させる為の実証、国内部品サプライヤーとの連携をテーマに取り組んでおりますが、これらの取り組みが将来実を結び、我が国の風力発電タービン技術が世界に発信できる日が必ず来ると確信しております。

現在国のご支援を頂き各地で洋上風車の実証実験が行われておりますが、今後事業として建設して行くにはメンテナンスの分野でも陸上風車とは全く違う手法の確立を検討して行かなければなりません。陸上風車の様にタイムリーな対応はできません。壊れない風車をニューファクチャー殿に開発して頂く事が重要ですが、万が一故障した場合どのように復旧させるか？壊れる兆候をある程度予測して行けるか？風車までどのようにアクセスするのか？等の問題を解決しておかなければなりません。

今まで風車に関わりの無い企業の皆様から様々なお知恵をお借りし、ご協力を頂けるよ

う風車についてご紹介して行く事も重要と考えております。当社といたしましても今まで経験してきた事をご説明して行く事で問題解決に繋げることが出来ればと考えております。

### 最後に

今後も自社で所有している風車サイトやトレーニング設備を活用し、日本にあったメンテナンスや洋上風車のメンテナンス手法の確立、人材育成の為に新規に参入される企業殿にご協力できればと考えております。

微力ではございますが、今後もJWPA活動及び弊社の事業を通じて風力発電業界の発展の為に貢献出来ます様、努力して参る所存でございますので、宜しくお願い申し上げます。



北九州ひびき風力発電所



遠隔監視システム



トレーニング設備



鹿児島風力発電研究所